

📅 7月17日 グランメッセ熊本

平成30年度国保総合システム担当者説明会

国保総合システムの運用状況及び操作を行う上での注意点等を説明

保険者の担当職員 57人が出席。

開会にあたり、本会情報システム課長が挨拶に立ち、その後各担当者が国保総合システムの運用状況及び操作を行う上での注意点を説明した。

- 「療養費」、「高額療養費」、「高額介護合算療養費」、「支給管理」について、各業務の概要及び処理の流れ、保険者サービス系システムの操作をする上での注意点について説明を行った。また、「高額療養費」の外來年間合算については、初年度の仮算定はツールでの実施となることを説明するとともに、運用スケジュールについても提示した。
- 「レセプトエラー確認」については、個人特定関連のエラーの種類、エラーレベル及びエラーの対処方法について説明した。
- 「国保情報集約システム」については、日次処理（資格情報のアップロード、処理状況照会、エラー内容の確認・修正等）、及び月次処理（世帯所得区分情報のアップロード、世帯継続判定、資格加入期間不整合リストの確認）の市町村で行う作業及び注意点について、また、クリティカルエラー解消一覧、マイナンバー未設定者に対する対応、得喪履歴の物理削除等に対する対応についても説明を行った。
- 「国保保険者標準事務処理システムサポートサイト」について紹介を行い、各システム（国保情報集約システム、国保事業費納付金等算定標準システム、市町村事務処理標準システム）単位でお知らせ、FAQ、マニュアルを含む各種ドキュメント等の情報提供や、問い合わせ登録等の機能を有している点を説明した。

